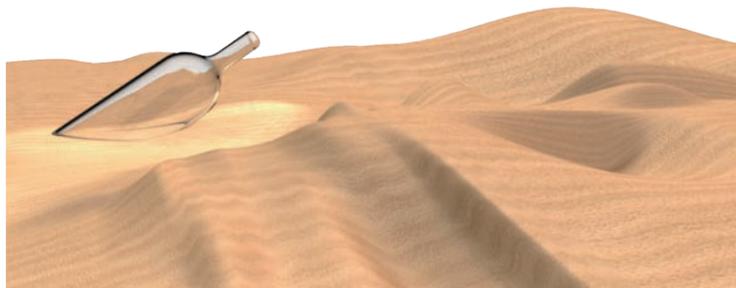


地球の砂から生まれたガラスびんには、 魅力がいっぱい詰まってる。



ガラスびんは、容器としてたくさんの優れた特性がありますが、中身をしっかりと守る密封性や保存性に加え、地球上にある天然素材からできているため、人体にも安全で、環境にも優しい容器です。ガラスの持つ質感から、高級感や重厚さも備えています。近年では、おしゃれな面でも人気があり、ずっと昔から今日まで親しまれ、世界中の人々に広く利用されています。

ガラスには 5000年の長い歴史がある

今から約5000年前のものと思われるエジプトのお墓から、ガラスを作る絵がみつかっています。ガラスには、とても長い歴史があり、ガラスびんもその頃に誕生したと考えられています。



透き通っているから 中身が見えて安心

ジャム、ジュース、お酒、薬など、いろいろなものに使えるガラスびんは、透き通っているから、ひと目で中身の様子を確かめて安心です。



独自の存在感を しっかりアピール！

角ばったびん、丸みのあるびん、模様が刻み込まれたびん、緑びん、茶びん、青びんなど、びんの形も色もいろいろで、個性をしっかりアピールします。



3Rの時代に求められる エコの優等生容器

ガラスびんは3R(リデュース・リユース・リサイクル)を兼ね備えた容器で、ごみの削減、省資源、省エネルギーなどに役立っています。



日本でびんが登場したのは 安土桃山時代

安土桃山時代にオランダからびんを輸入して、香水や薬などを保存していたという記録が残っています。江戸時代には国産の酒びんなども登場しますが、まだまだ高級品でした。一般の人が使えるようになったのは、明治時代以降です。



すぐれた密封性で 中身が長持ちする

ガラスびんは密封性が高く、空気を通さないため、中身の美味しさを長く保ちます。キャップの開閉も容易で、しっかり閉めることができますので、保存するのに最適です。



ガラスびんが おいしさを引き立てる

ガラスびんのやさしい手ざわりや口あたり、見た目の美しさ、そそぐ時のトククという音まで、五感に伝わるいろいろな魅力が、おいしさを引き立ててくれます。



工夫次第で 空きびんをいろいろ使える

使い終わった空きびんは、ペン立てなど工夫次第でいろいろな用途に使うことができます。かわれ大根を育てることだってできます。



100%天然素材だから 人にも地球にもやさしい

ガラスびんの主な原料は、けい砂・石灰石・ソーダ灰と、空きびんを砕いたカレットです。主にソーダ石灰ガラスで作られ、その主成分は、地球の地殻の組成とほぼ同じです。100%天然素材からできています。だから、人にも地球にもやさしく、安心して使うことができます。



味なしにおいなしで おいしさ・冷たさそのまま

ガラスびんには、味にもにおいにもまったくありません。また中身のおいしさが伝わることもありません。そのため、中身本来のおいしさが伝わり、そのまま味わうことができます。さらに冷たさも伝わります。



毎日の暮らしを 心地よく彩る

ガラスびんの素材やデザインは、食卓に並ぶ料理や食器などに自然になじみ、毎日の暮らしに、心地よい彩りをそえてくれます。



重くて、割れることも あるけれど・・・

ガラスびんは、いろいろな魅力を兼ね備えている反面、「ていねいに扱わないと割れる」という短所もあります。しかし近年では、「軽くて丈夫な」びんも増えています。

